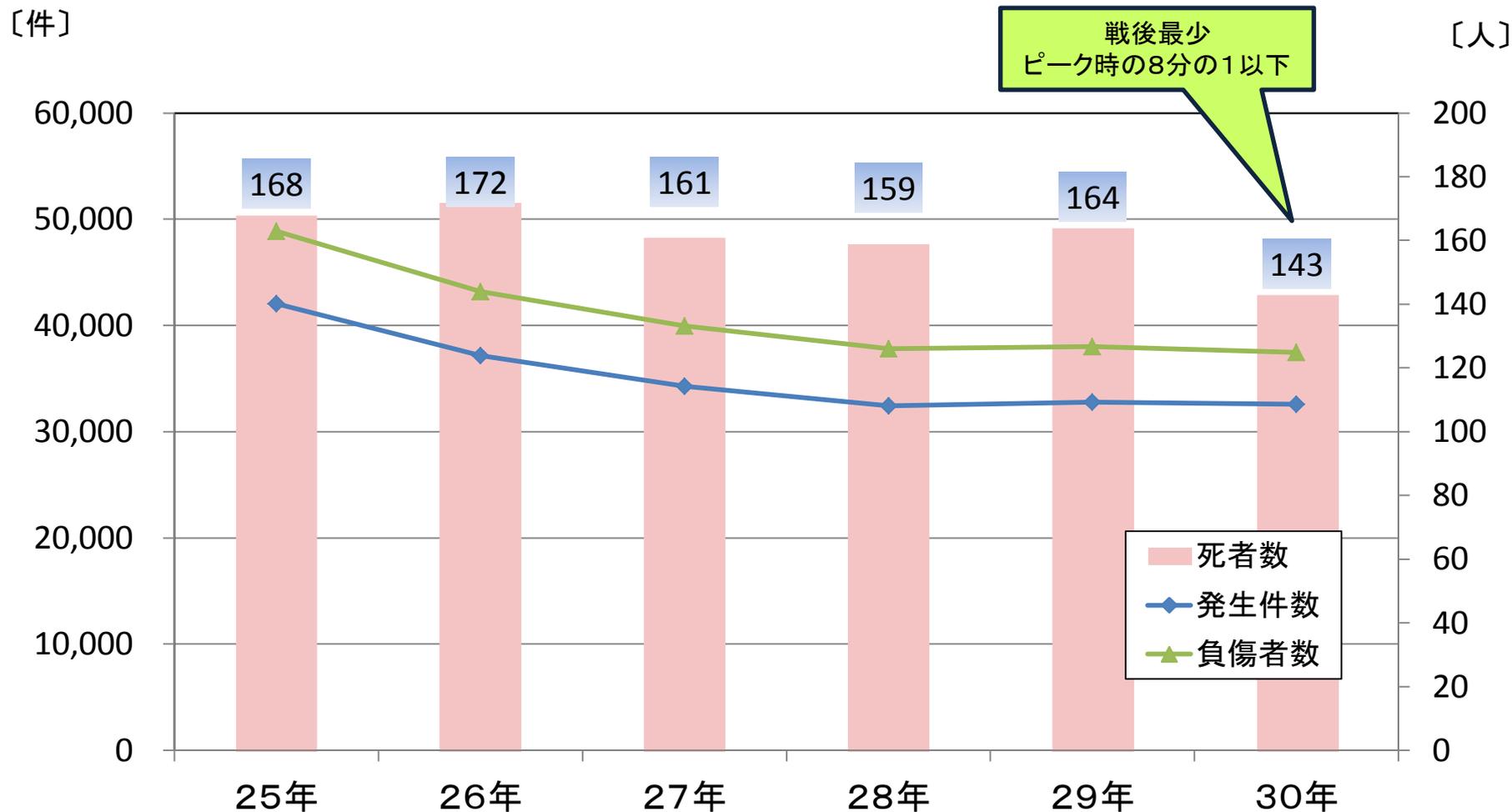


都内の交通事故発生状況



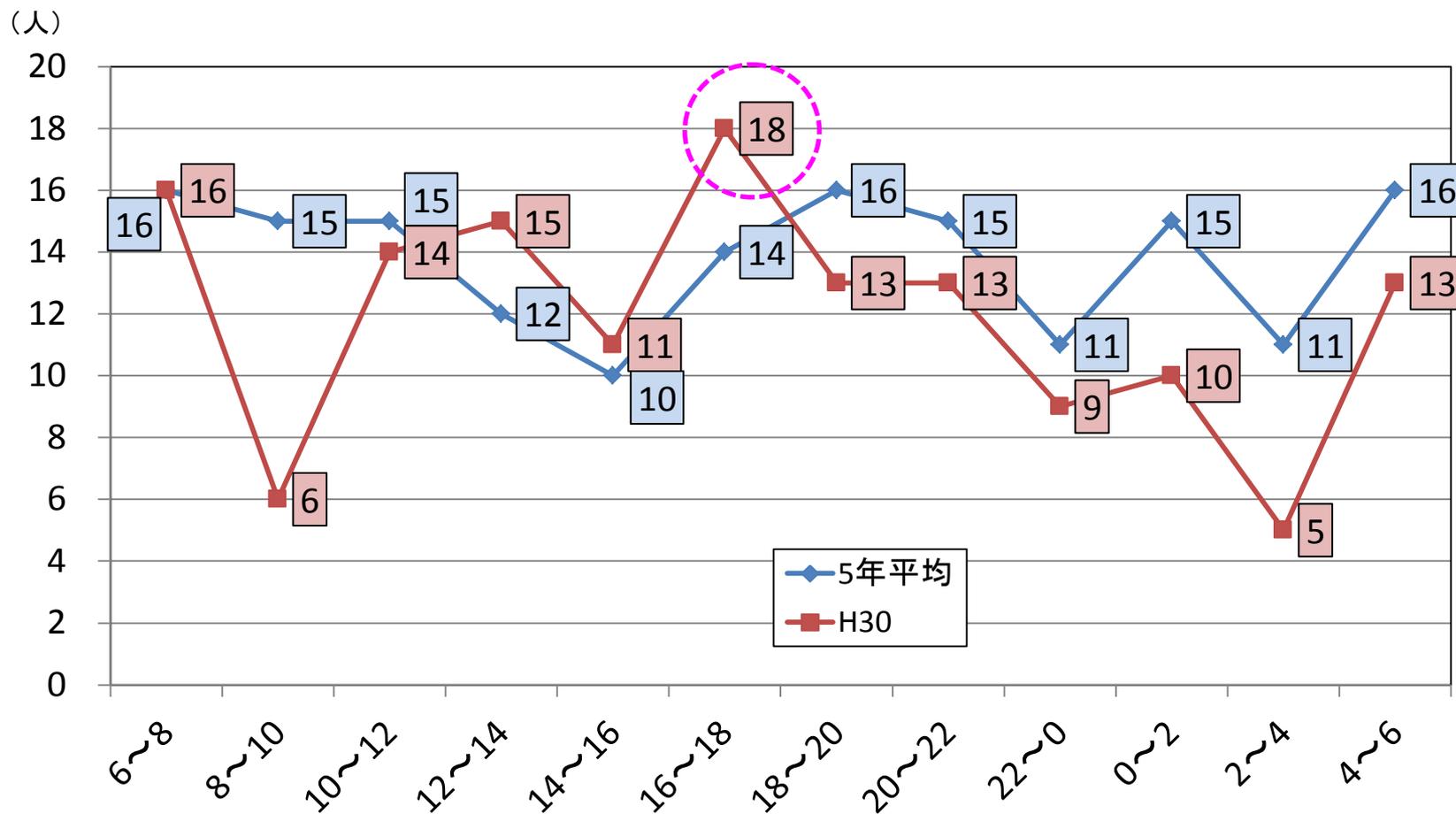
平成31年1月
警視庁交通部交通総務課

都内の交通事故発生状況



- 発生件数 : 32,590件 (−173件、− 0.5%)
- 負傷者数 : 37,443人 (−551人、− 1.5%)
- 死者数 : 143人 (− 21人、−12.8%)

時間帯別死者数 (H30)



○ 時間帯別：16時～18時が18人で最多

状態別・年齢別死者数(H30)

状態別 年齢層別	計		自動車		二輪車				自転車		歩行者		その他		年齢層別の 構成率
	本年	増減	本年	増減	自動二輪	増減	原付	増減	本年	増減	本年	増減	本年	増減	
計	143	-21	11	-6	36	+2	8	+1	25	-3	60	-16	3	+1	100%
0～9歳	4	-2				-1				-1	4	±0			2.8%
10歳代	5	+3			1	-1	2	+2	2	+2					3.5%
20歳代	11	-10	1	-3	6	-5		-1	1	±0	3	-1			7.7%
30歳代	18	+1	1	-2	8	+2		-2	4	+1	4	+1	1	+1	12.6%
40歳代	14	-7		-3	7	+2	1	-1		-3	5	-2	1	±0	9.8%
50歳代	21	-8	4	±0	7	+2	1	-1	3	-3	6	-5		-1	14.7%
60歳代	19	+4	3	±0	4	+1	2	+2	3	±0	7	+1			13.3%
70歳代	30	-2	1	+1	2	+1	2	+2	7	+1	18	-7			21.0%
80歳以上	21	±0	1	+1	1	+1			5	±0	13	-3	1	+1	14.7%
状態別の構成率	100%		7.7%		25.2%		5.6%		17.5%		42.0%		2.1%		
					30.8%										

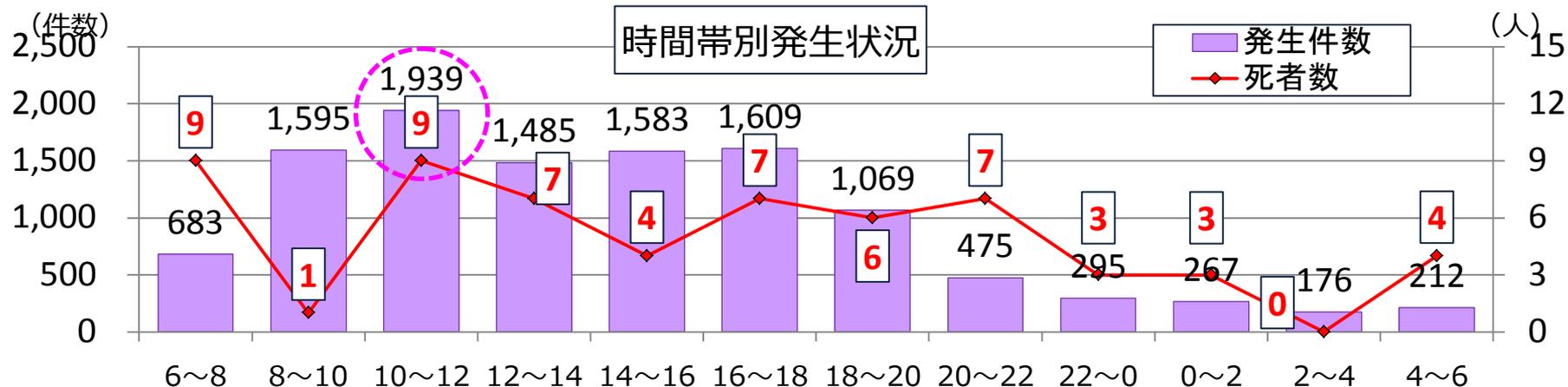
(再掲)

※ 構成率については、合計数が必ずしも一致しない。

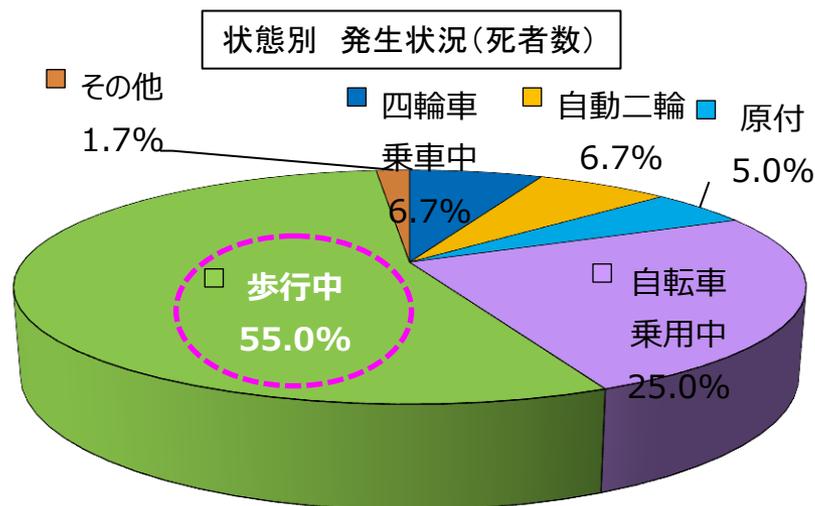
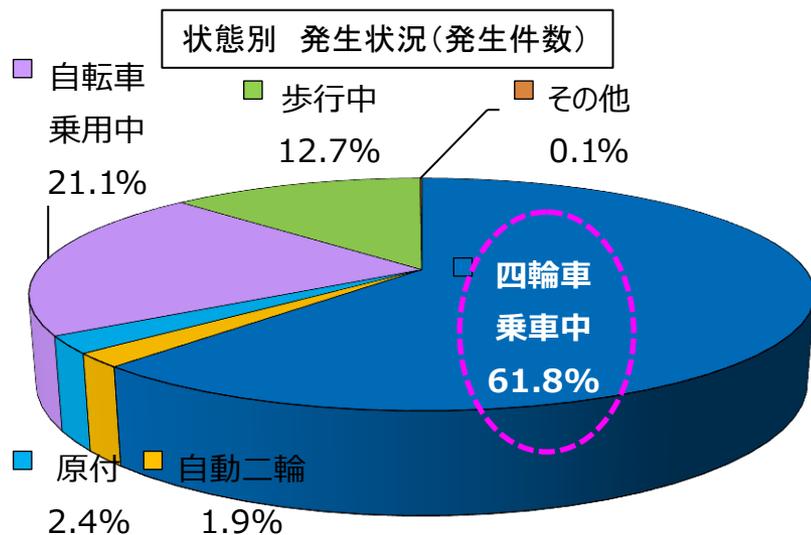
高齢者	60	-3	4	+1	4	+1	3	+3	15	+2	33	-11	1	+1	42.0%
65～74	20	-5	2	-1	2	-1	1	+1	7	+4	8	-8			14.0%
75以上	40	+2	2	+2	2	+2	2	+2	8	-2	25	-3	1	+1	28.0%

- 状態別 : 歩行中 (60人(-16人) 42.0%) が最多
- 年齢層別 : 70歳代 (30人(-2人) 21.0%) が最多

高齢者の時間帯別・状態別発生状況

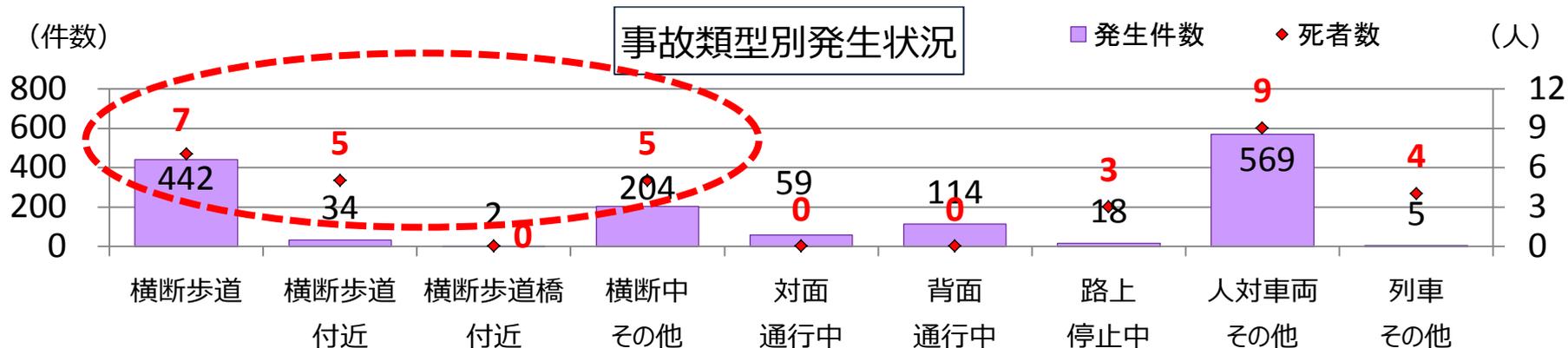


○ 発生件数では10~12時、死者数では6~8時、10~12時が最多

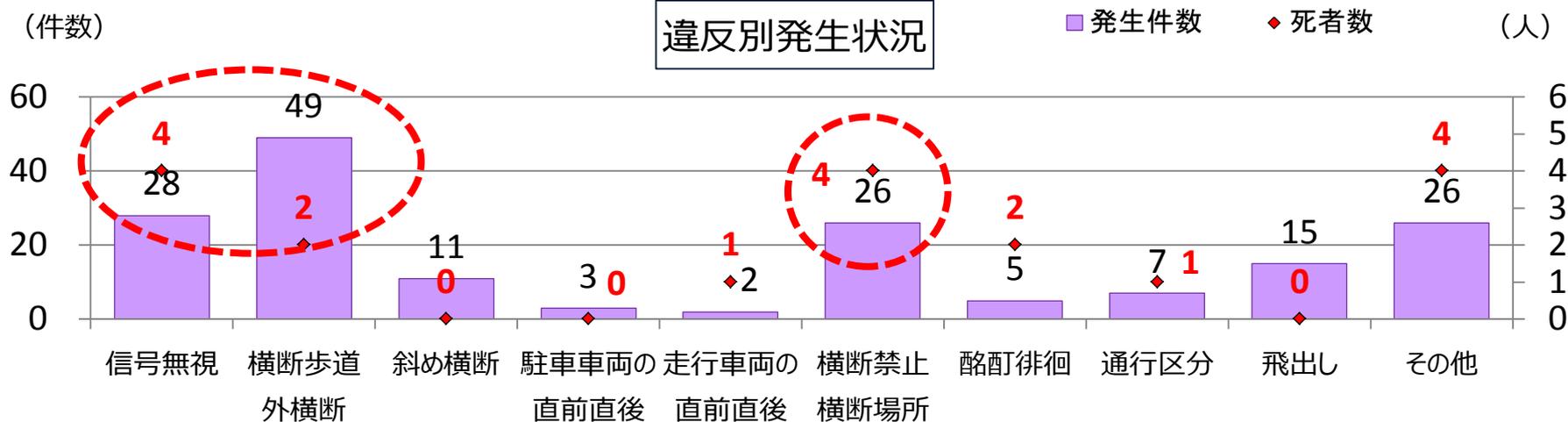


○ 死者数では、歩行中が最も多く、高齢者全体の55.0%を占める。

高齢歩行者の事故類型別・状態別発生状況

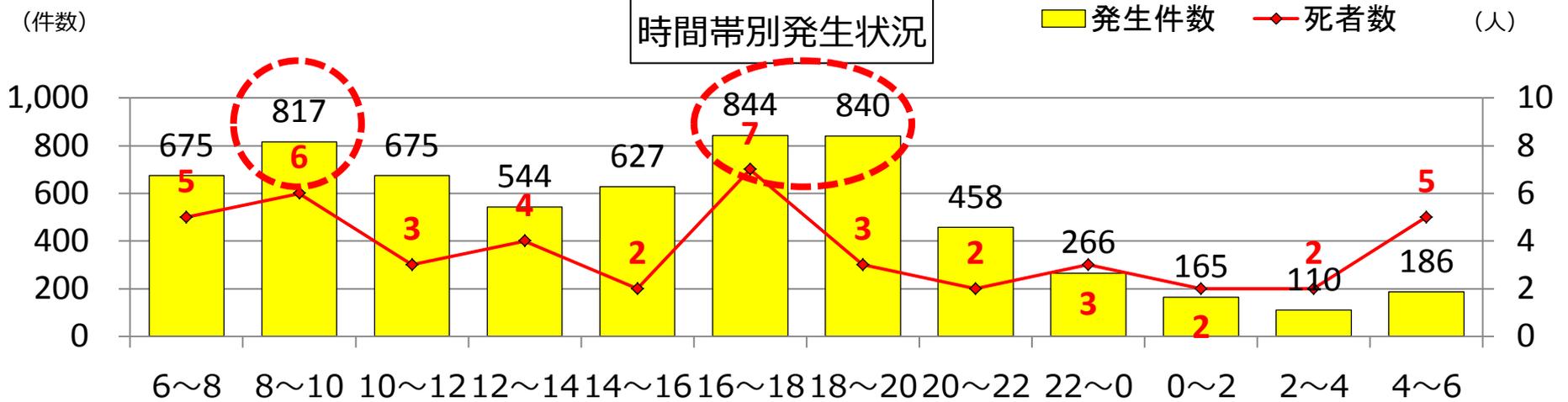


○ 道路を横断中に多く発生している。

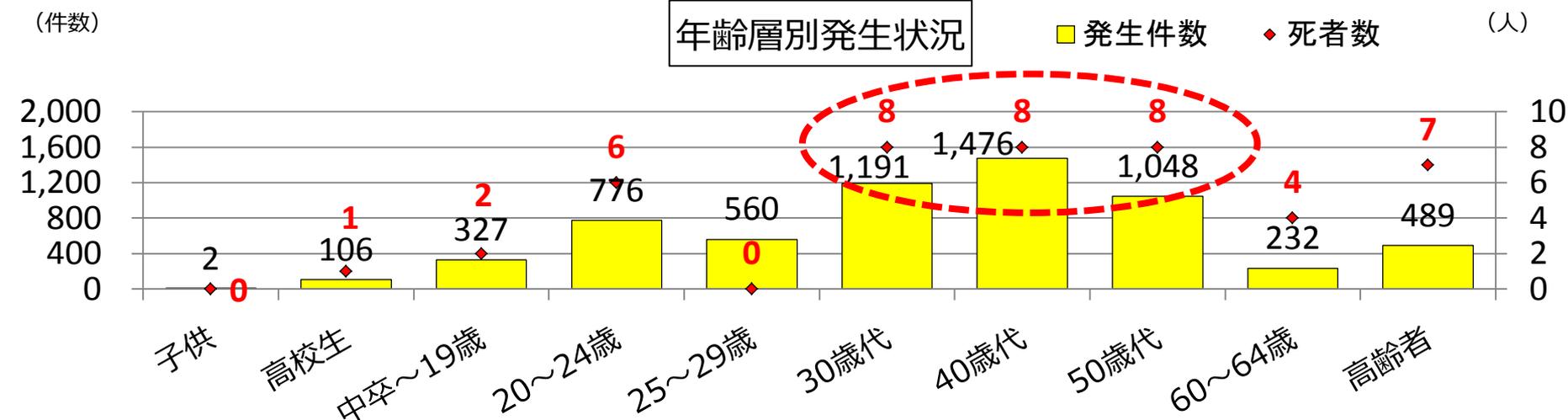


○ 高齢者側の横断歩道外横断、信号無視、横断禁止場所横断が多い。

二輪車の時間帯別・年齢層別発生状況 (H30)

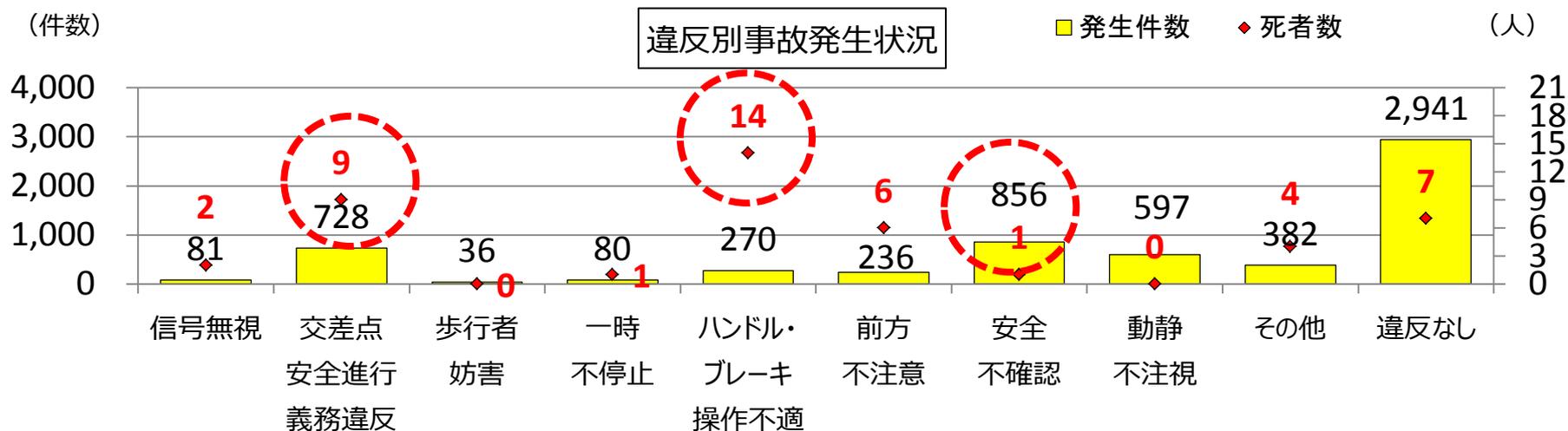
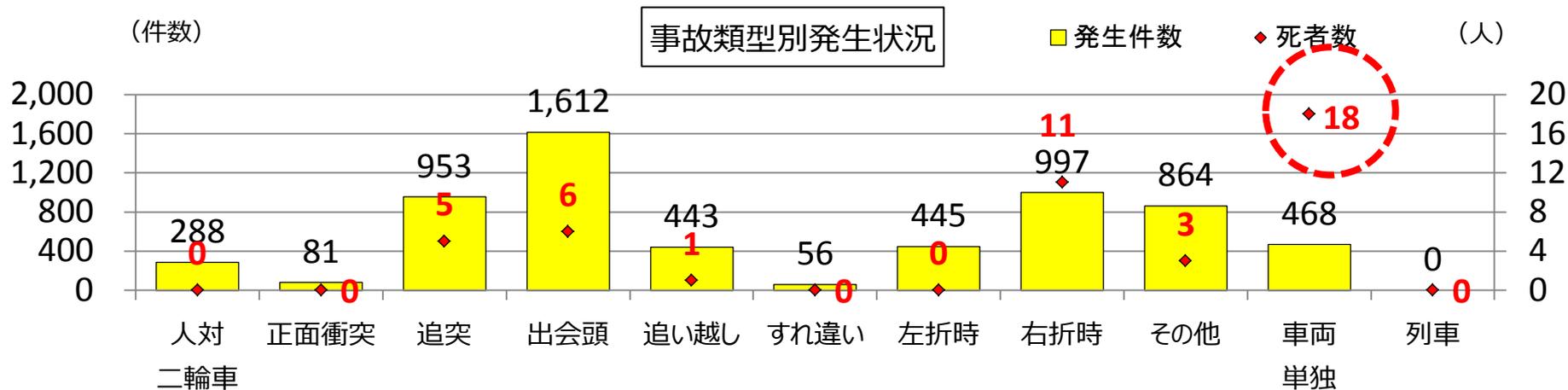


○ 出勤退勤時間帯が多い。



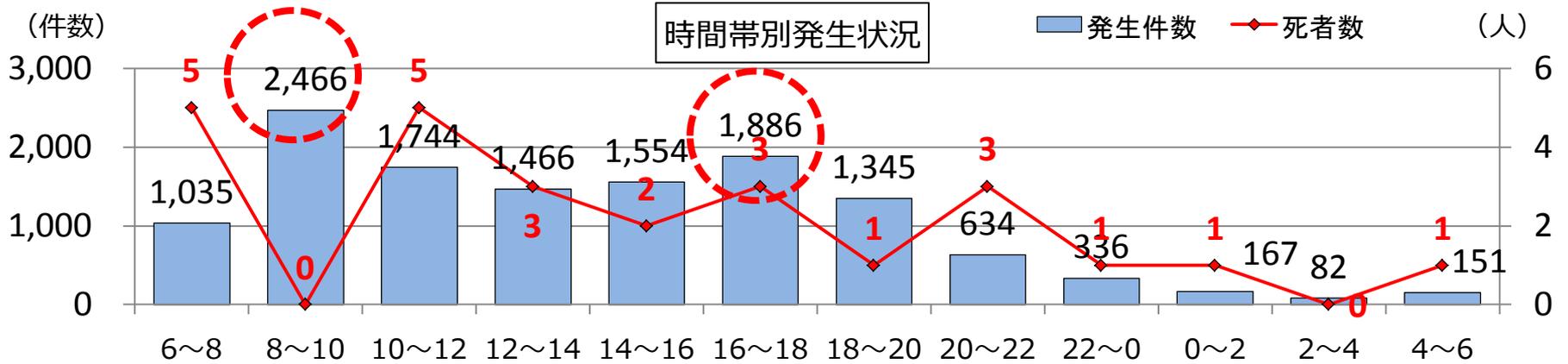
○ 30歳代、40歳代、50歳代が多い。

二輪車の事故類型別・違反別発生状況 (H30)



- 安全不確認や交差点安全進行義務違反などの不注意を原因とする事故が多い。
- 死亡事故の原因は、ハンドル・ブレーキ操作不適の単独転倒が多い。

自転車の時間帯別・年齢層別発生状況 (H30)

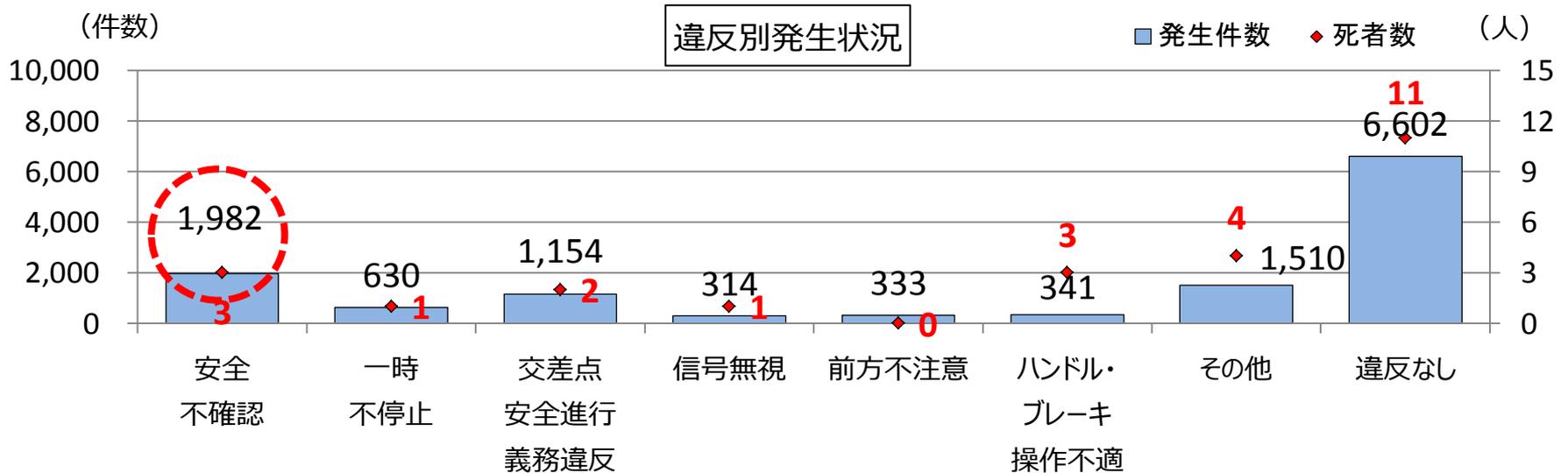
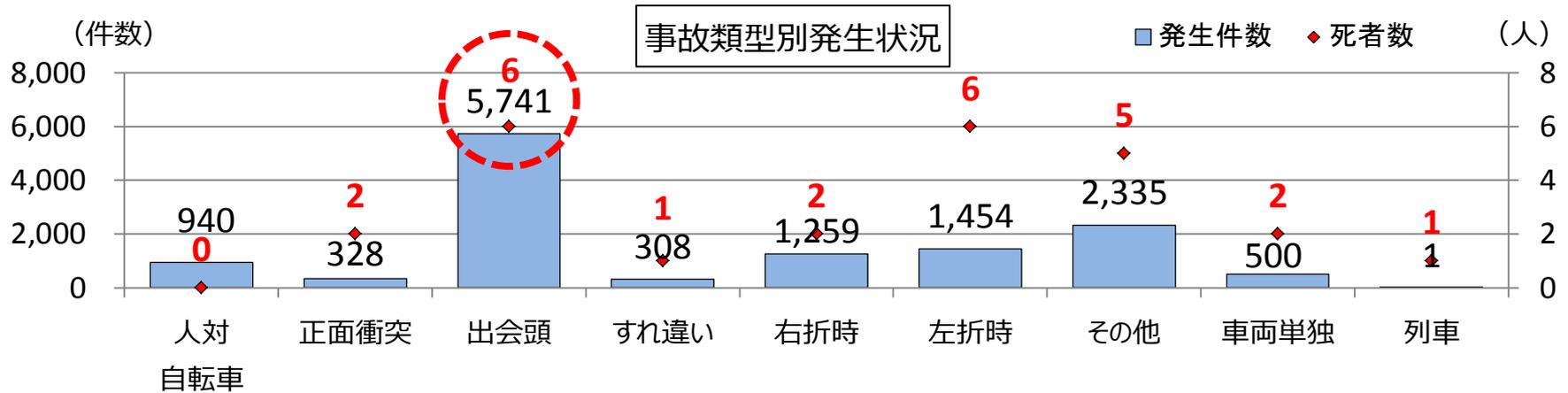


○ 8~10時が最多。次いで16~18時が多い。



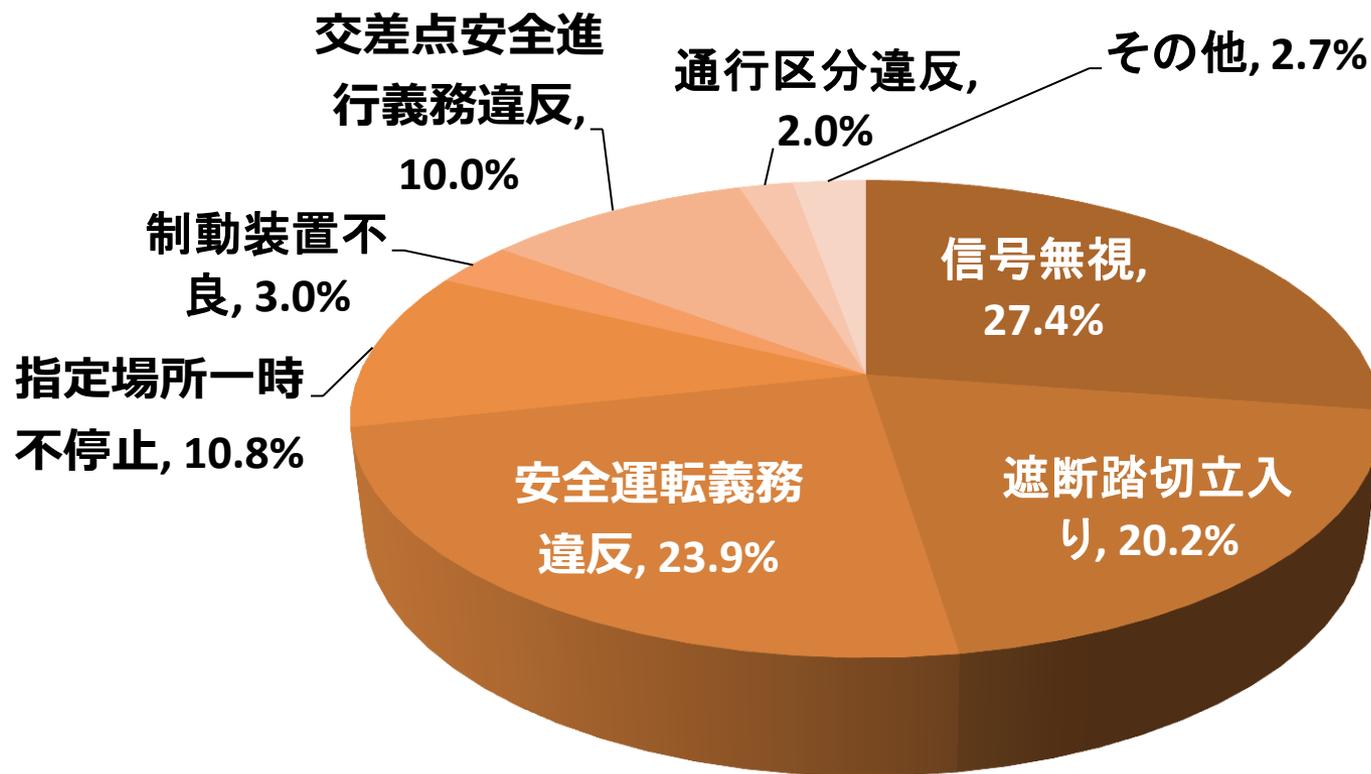
○ 30歳代、40歳代、高齢者が多い。

自転車の事故類型別・違反別発生状況（H30）



○ 交差点や裏路地での出会い頭が最も多く、安全不確認などの不注意を原因とするケースが目立つ。

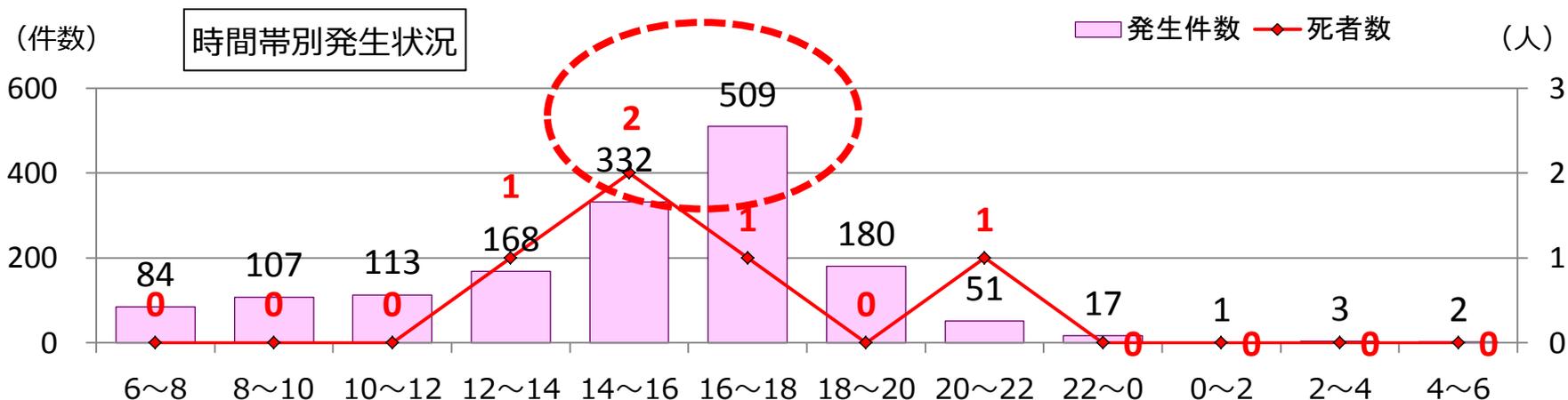
都内における自転車の危険行為登録状況



【H27. 6. 1～H30. 12. 28】

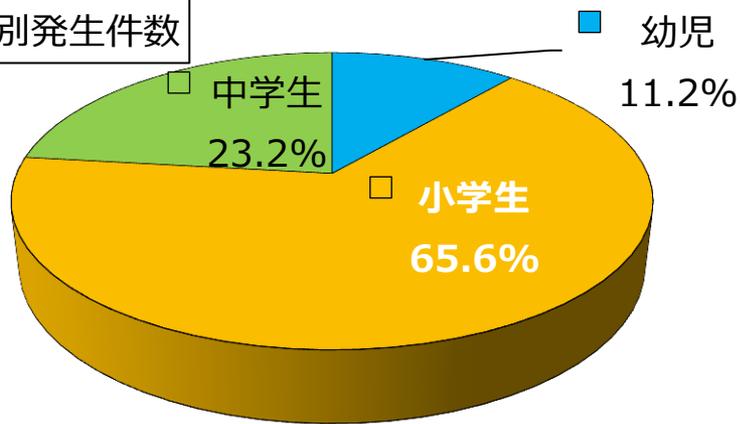
- 危険行為登録件数は、約1万4, 000件
(内訳 男性 約6割、女性約4割、20歳代が最多で2割強)
- 受講命令対象者 92名
- 講習受講者数 77名

子供の時間帯別・年齢層別発生状況 (H30)

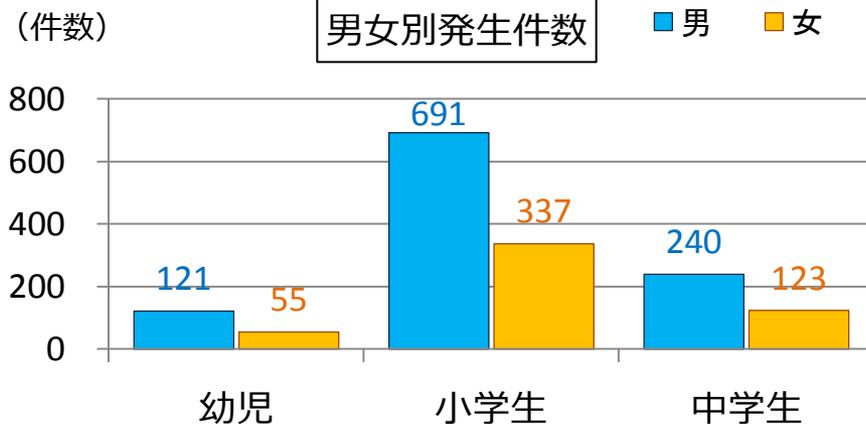


○ 登校時ではなく、下校時や下校後の時間帯に多く発生している。

学齢別発生件数



男女別発生件数

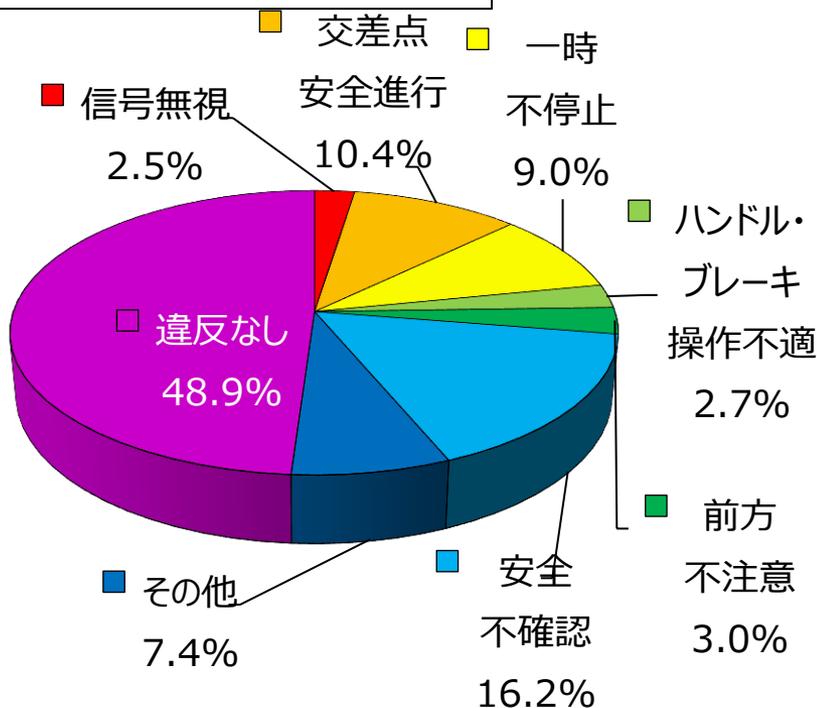


○ 小学生が65.6%を占めており、そのうち、男子の事故件数が女子の約2倍以上
 ○ 状態別では、自転車乗用中が57.2%で最多。次いで、歩行中が多い42.6%)。

子供の自転車・歩行中の違反別発生状況（H30）

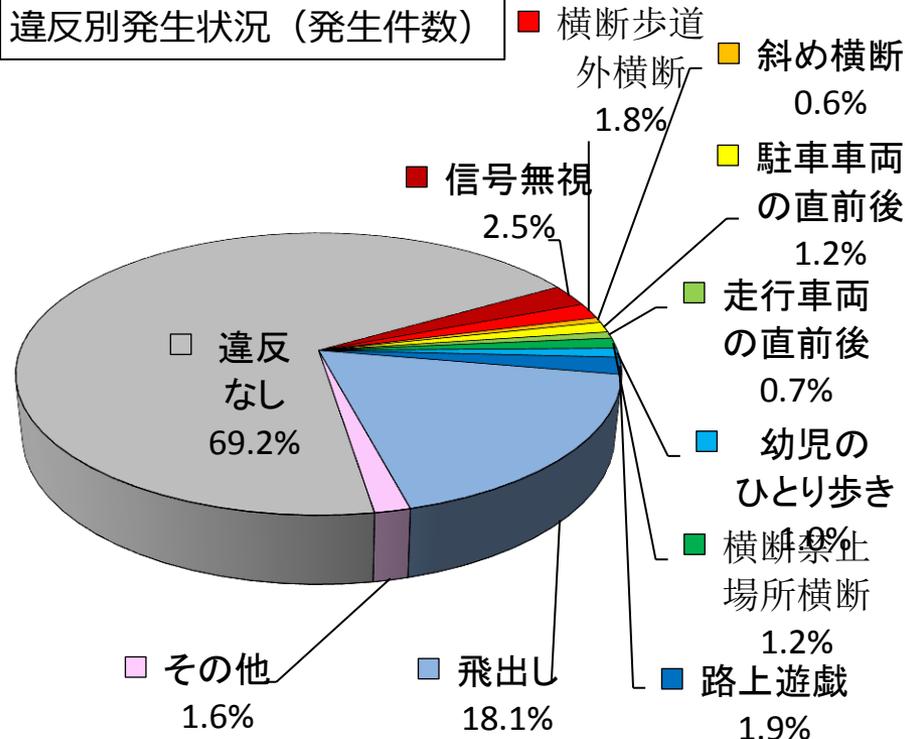
自転車 違反別 発生状況

違反別発生状況（発生件数）



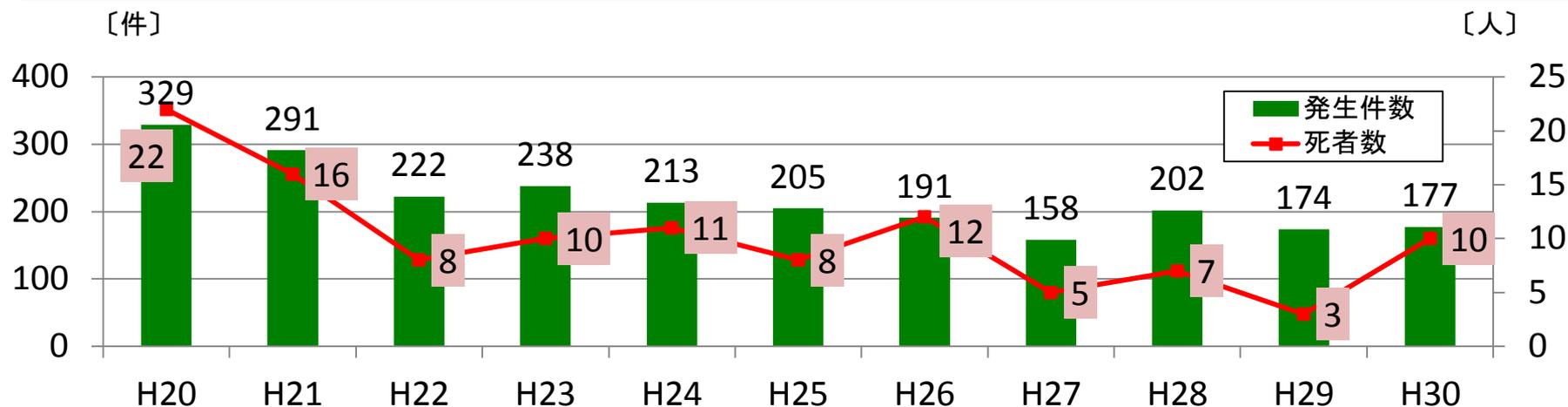
歩行中 違反別 発生状況

違反別発生状況（発生件数）

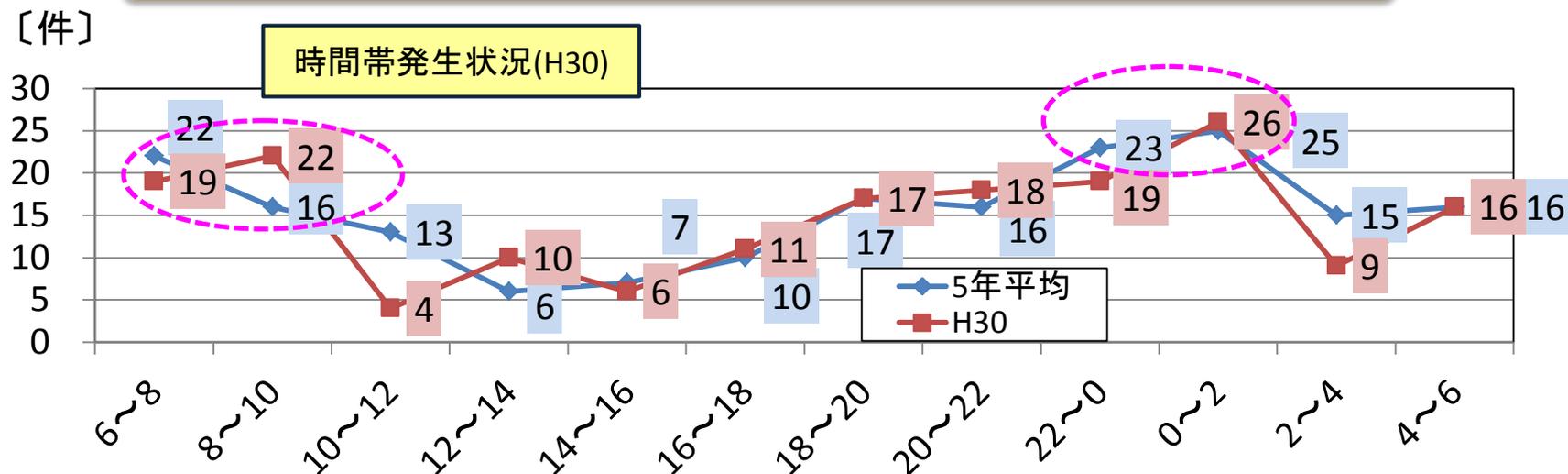


- 自転車事故の事故類型別では出会い頭が最も多く、安全不確認や一時不停止などを原因とする事故が多い。
- 歩行中の事故では、子供側の約3割に何らかの違反があり、そのうち飛出しを原因とするものが最も多い。

飲酒事故の発生状況（時間帯別）

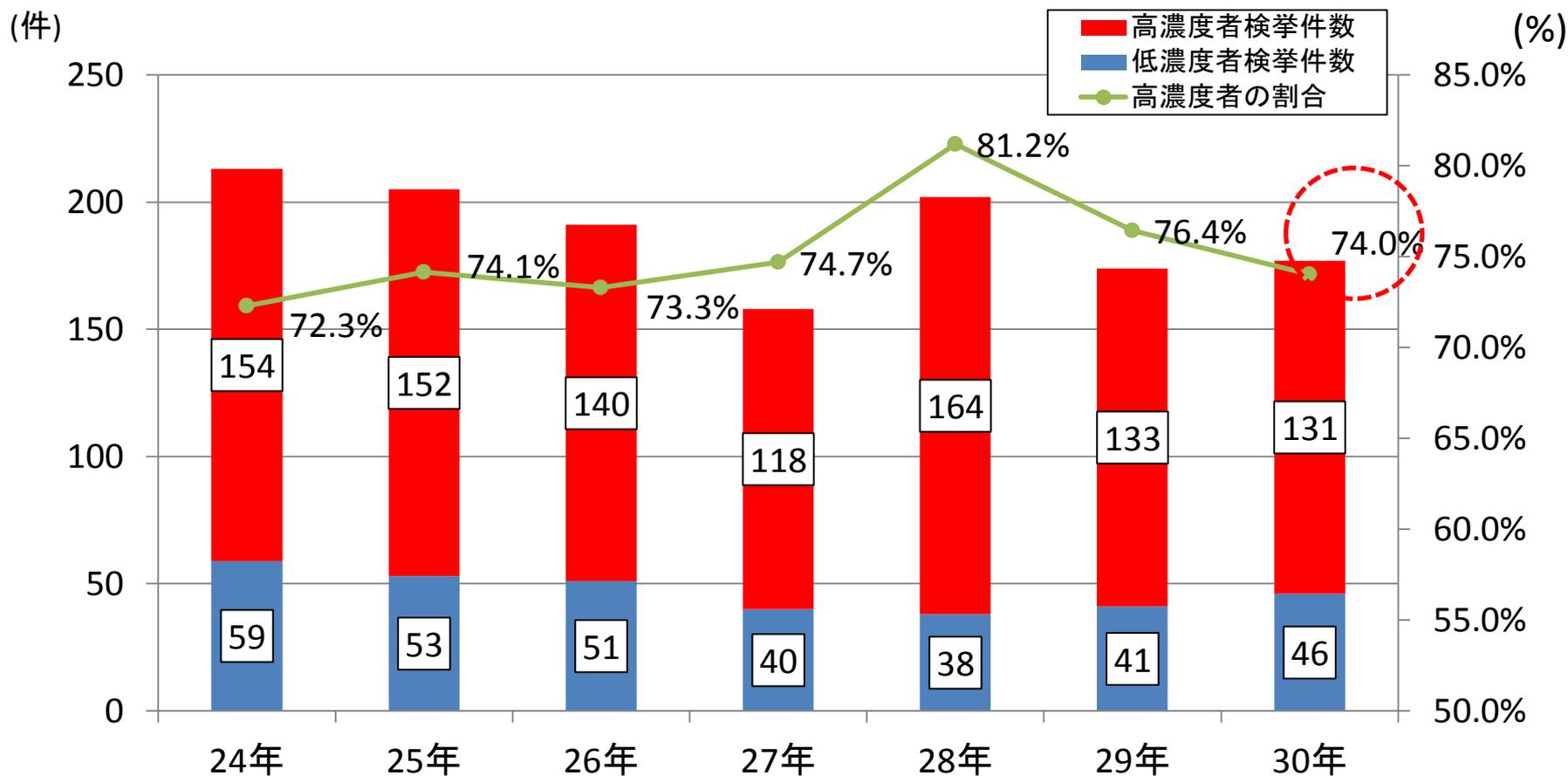


○ 平成30年中の飲酒事故による死者数は10人（前年比+7人）



○ 時間帯別では、22時から2時、6時から10時が多い。

飲酒運転検挙者と「高濃度者」の割合



【平成30年中】

○ 全飲酒事故に占める高濃度者の割合は74.0%

※ 高濃度者とは、検挙者のうち、呼気1リットル中のアルコール濃度が0.25mg以上若しくは酒酔いの状態で運転していた者をいう。
 ※ 低濃度者とは、高濃度者以外の者をいう。